

全国町村長大会来賓氏名

全国町村長大会には、井上喜一内閣府特命担当大臣(防災)有事法制担当をはじめ次の国会議員来賓あいさつをされた内閣総理大臣等を除く)の先生方が来賓としてご出席下さいました。衆・参両院議員は三〇〇名、本人出席者一四二名、衆議院議員九三名、参議院議員四九名、代理出席者一五八名、衆議院議員一〇五名、参議院議員五三名でした。来賓の方々のお名前は次のとおりです。(敬称略、順不同)

本人出席者

(衆議院議員)

(九三名)

内閣府特命担当大臣(防災)有事法制担当

井上喜一 兵庫

(小選挙区)

金田誠一 北海道

武部 勤 "

鉢呂吉雄 "

鳩山由紀夫 "

木村太郎 青森

伊藤信太郎 宮城

西村明宏 "

寺田 学 秋田

御法川信英 "

玄葉光一郎 福島

永岡洋治 茨城

葉梨康弘 "

小淵優子 群馬

大野松茂 埼玉

三ツ林隆志 "

井上信治 東京

保坂 武山 梨

菊田まきこ 新潟

高木 毅 福井

山本 拓 "

小坂憲次 長野

宮下一郎 "

棚橋泰文 岐阜

原田令嗣 静岡

古本伸一郎 愛知

三ツ矢憲生 三重

岩永峯一 滋賀

田島一成 "

三日月大造 "

田中英夫 京都

山井和則 "

河本三郎 兵庫

谷 公一 "

西村康稔 "

奥野信亮 奈良

馬淵澄夫 "

川上義博 鳥取

竹下 巨島 根

逢沢一郎 岡山

くましる昭彦 "

山口俊一 徳島

木村義雄 香川

武田良太 福岡

北村誠吾 長崎

高木義明 "

金子恭之 熊本

坂本哲志 "

園田博之 "

江藤 拓宮 崎

古川禎久 "

保岡興治 鹿児島

白保台一 沖縄

西銘恒三郎 "

(比例)

金田英行 北海道

小林千代美 "

佐々木秀典 "

松木けんこう "

山下貴史 "

玉澤徳一郎 東北

津島恭一 "

橋本きよひと "

二田孝治 "

吉野正芳 "

植竹繁雄 北関東

佐田玄一郎 "

蓮実 進 "

一川保夫 北信越

岩崎忠夫 "

若泉征三 "

青山 丘 東海

鈴木淳司 "

近藤ひろし "

園田康博 "

平田耕一 "

宇野 治 近畿

奥村展三 "

小西 理 "

滝 まこと "

森岡正宏 "

加藤勝信 中国

河井克行 "

能勢和子 "

和田隆志 "

石田祝稔 四国

岡本芳郎 "

高井美穂 "

森田 一 "

川内博史 九州

楠田大蔵 "

佐藤 錬 "

仲村正治 "

西川京子 "

(参議院議員)

(四九名)

中川義雄 北海道

市川一朗 宮城

金田勝年 秋田

斉藤滋宣 "

岸 宏一 山形

和田ひろ子 福島

岩城光英 "

佐藤雄平 "

岡田 広 茨城

山本一太 群馬

畑野君枝 神奈川

野上浩太郎 富山

山崎正昭 福井

松村龍二 "

吉田博美 長野

大野つや子 岐阜

榊葉賀津也 静岡

竹山 裕 "

高橋千秋 三重

河本英典 滋賀

山下英利 "

西田吉宏 京都

宮本岳志 大阪

大沢たつみ 兵庫

服部三男 奈良

世耕弘成 和歌山

鶴保庸介 "

常田享詳 鳥取

田村耕太郎 "

景山俊太郎 島根

柏村武昭 広島

亀井郁夫 "

松岡満壽男 山口

北岡秀二 徳島

真鍋賢二 香川

田村公平 高知

森下博之 "

吉村剛太郎 福岡

松山政司 "

田浦 直長 崎

木村 仁 熊本

後藤博子 大分

仲道俊哉 "

小斉平敏文 宮崎

加治屋義人 鹿児島

西銘順志 沖縄

大江康弘 比例

久世公堯 "

森元恒雄 "

代理出席者

(衆議院議員)

(一〇五名)

(小選挙区)

今津 寛 北海道

北村直人 "

中川昭一 "

大島理森 青森

津島雄二 "

鈴木俊一 岩手

黄川田 徹 "

小沢一郎 "

安住 淳 宮城

佐藤剛男 福島

坂本剛二 "

渡部恒三 "

梶山弘志 茨城

大畠章宏 "

丹羽雄哉 "

額賀福志郎 "

佐藤 勉 栃木

渡辺喜美 "

森山眞弓 "

茂木敏充 "

笹川 堯 群馬

尾身幸次 "

谷津義男 "

福田康夫 "

高山智司 埼玉

新井正則 "

山口泰明 "

森 英介 千葉

伊藤公介 東京

堀内光雄 山梨

近藤基彦 新潟

稲葉大和 "



内閣府特命担当大臣(防災)有事法制担当
井上喜一氏

岸田文雄	橋本龍太郎	平沼赳夫	石破茂鳥	谷本龍哉	二階俊博	石田真敏	田野瀬良太郎	竹本直一	大谷信盛	谷垣禎一	田村憲久	中川正春	川崎二郎	伴野豊	山本明彦	江崎鐵磨	杉浦正健	鈴木克昌	望月義夫	柳澤伯夫	藤井孝男	古屋圭司	武藤嘉文	羽田 孜	後藤茂之	下条みつ	松宮 勲	森 喜朗	瓦 力石	宮腰光寛		
島	山	山	取	取	山	山	良	大阪	都	都	重	重	重	重	重	重	重	知	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	野	井	川	川	山		
加藤尚彦	河上覃雄	西川公也	鹿野道彦	高橋千鶴子	萩野浩基	増子輝彦	(比例)	嘉数知賢	徳田虎雄	山中貞則	中山成彬	岩屋 毅	衛藤征士郎	林田 彪	谷川 弥一	久間章生	保利耕輔	今村雅弘	自見庄三郎	福井 照	山本有二	山本公一	塩崎恭久	平井卓也	大野功統	後藤田正純	中川秀直	増原義剛	宮沢洋一	池田行彦		
南関東	北関東	北関東	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	
椎名一保	関口昌一	佐藤泰三	中曽根弘文	谷 博之	矢野哲朗	狩野 安茨	太田豊秋	阿部正俊	愛知治郎	櫻井 充	椎名素夫	田名部匡省	山崎 力	伊達忠一	峰崎直樹	(参議院議員)	(参議院議員)	(参議院議員)	松岡利勝	松下忠洋	三原朝彦	亀井久興	佐藤公治	佐藤信二	七条 明	岸本たけし	金子一義	斉藤斗志	馳 浩	村井 仁		
葉	玉	馬	馬	馬	木	城	島	形	形	城	手	森	森	北海道	北海道	北海道	北海道	九州	九州	九州	九州	中国	中国	中国	中国	畿	畿	海	海	越	越	
清水たつお	小林美恵子	小泉顕雄	紙 智子	大仁田厚	魚住汎英	岩佐恵美	入澤 肇	市田忠義	有村治子	上杉光弘	三浦一水	岩永浩美	陣内孝雄	岩本つかさ	関谷勝嗣	野間 赳	山内俊夫	加藤紀文	片山虎之助	青木幹雄	谷川秀善	白浜一良	西山とき子	佐藤泰介	鈴木政二	谷林正昭	山下善彦	北沢俊美	羽田雄一郎	中島真人		
例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例
橋本聖子	高橋千秋	木俣佳丈	加藤修一	(参議院議員)	藤村 修	福井 照	中山よしかつ	中村正三郎	下条みつ	実川幸夫	近藤昭一	小林興起	後藤茂之	小泉俊明	川端達夫	漆原良夫	小池百合子	(環境大臣)	(農林水産大臣)	(祝電・メッセージ)	渡辺秀央	吉川春子	宮崎秀樹	西岡武夫	中島啓雄	高嶋良充	高嶋良充	高嶋良充	高嶋良充	高嶋良充	高嶋良充	



経済農林部会長 岩手県藤沢町長
佐藤 守



財政部会長 千葉県富浦町長
遠藤 一郎



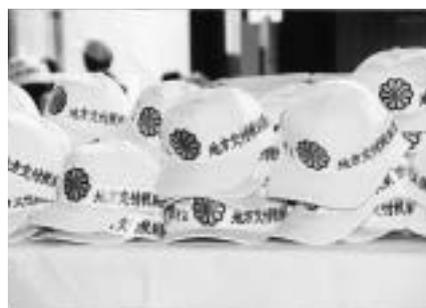
行政部会長 埼玉県嵐山町長
関根 昭二

決議朗読

決 議

- 一、町村が自主的、自立的な施策を展開できる地方分権と三位一体の改革を推進し、町村の行財政基盤の確立を期する
- 一、固定資産税の安定的確保と現行水準の堅持を期する
- 一、介護保険制度の円滑な実施と少子高齢化社会に即応した保健福祉施策の推進を期する
- 一、医療保険制度の一本化を期する
- 一、農林漁業の振興と活力ある農山漁村の建設を期する
- 一、食料自給率の向上と食の安全・安心の確保を期する
- 一、遅れている地方道整備のため道路特定財源の確保を期する
- 一、北朝鮮による拉致事件の早期解決を期する
- 一、北方領土の早期返還と竹島の領土権の確立を期する

以上決議する。





緊急重点決議

今、町村自治は、存亡の危機にある。

これまで、全国の町村は、住民に最も身近な行政主体として幅広い分野で様々な公共サービスを提供するとともに、国土保全等においても重要な役割を果たしてきた。

それぞれの町村は、歴史的な経緯、文化・風土や自然的・地理的条件等を異にしており、国土の多様性に応じ、様々な町村が基礎自治体として存在することこそ本来の自然な姿である。

しかるに、人口小規模であるが故に町村の持つ権限が剥奪・制限・縮小されるようなことになれば、また、地方自治の根幹に関わる合併が関係市町村の自主的な判断に基づかず、強制的に進められることになれば、町村自治は崩壊する。

同時に、三位一体の改革が、町村のおかれている自然的・地理的条件や経済的・社会的実情等を十分考慮せず進められることになれば、町村が主体的・自立的な政策を展開するための税財政基盤の確立は困難となる。

よって、町村自治を確立強化し、町村が確固たる税財政基盤のもとにその役割を果たせ



全国町村会副会長 宮城県鹿島台町長
鹿野 文永

よう、下記事項について国に強く要請する。

記

- 1、人口の大小にかかわらず、すべての市町村を基礎自治体と位置づけ、権限の剥奪・制限・縮小は行わないこと。
- 2、いかなる場合においても強制的な合併は行わないこと。
- 3、地方交付税のもつ財源調整機能、財源保障機能を絶対堅持するとともに、必要な総額を確保すること。
- 4、税源移譲等により、町村税財源の充実確保をはかること。

国庫補助負担金の廃止・縮減を先行実施するなど、単なる地方への負担転嫁は絶対に行わないこと。

以上決議する。



宣 言

我が国は、経済活動の一部に明るい兆しが見えてきたと言われているものの、全体としては停滞状況にあり、また、増大する財政赤字、悪化している雇用環境など深刻な問題が山積している。

町村を取り巻く環境も、過疎化、少子高齢化の進行、地域経済の活力の低下といった厳しい状況下であり、そのような中で、我々町村長は、合併をはじめ、数々の地域課題解決のために懸命の努力を続けている。

全国2,497の町村は、2割の人口で国土面積の7割を支え、食料の供給、水資源の涵養、自然環境の保全や労働力の供給等、極めて重要な役割を果たし続けてきた。

将来に亘り、国民一人ひとりが真の豊かさで安らぎを実感するためには、日々の生活の拠点である地域社会が魅力にあふれ、活力に満ちたものでなければならない。その実現のためには、住民に最も身近な行政主体である町村が、まさに、基礎自治体として地域の実情に沿った個性あふれる行政を主体的、自立



全国町村会副会長 京都府園部町長

野中 一二三

的に展開していくことが何よりも重要である。

町村の、そして地域の発展なくして、国の繁栄もない。

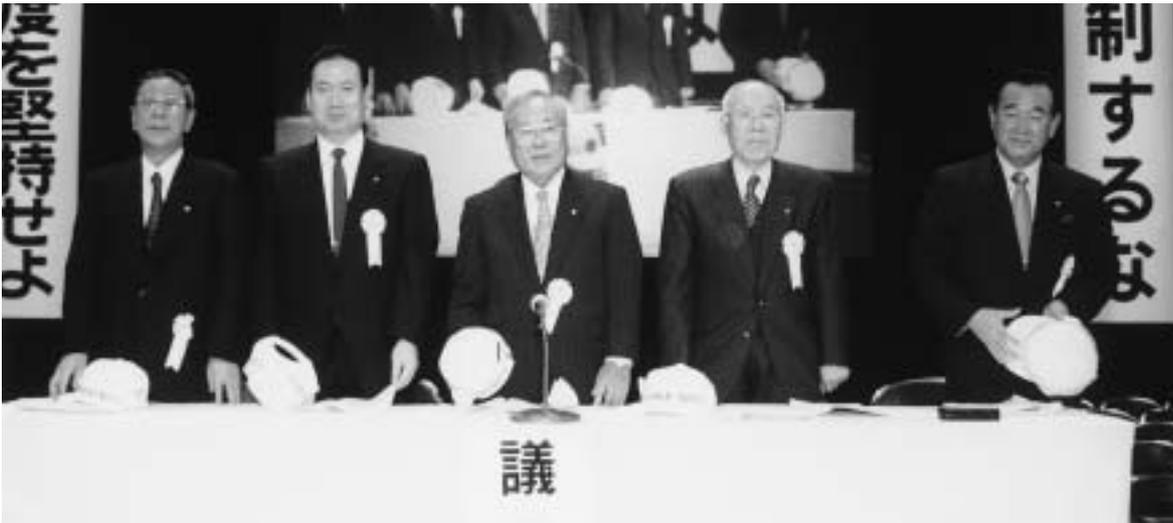
我々町村長は、この信念のもと、直面する様々な課題に対して積極果敢に取り組み、困難を乗り越え、住民が幸せを享受できる社会の実現に全力を尽くすことをここに誓う。

以上宣言する。





大会司会者
 左から藤崎高知県会長 吾
 川村長、針ヶ谷群馬県会長
 (板倉町長)、桂和歌山県会長 すすみ町長。



大会議長団
 左から海老澤北海道会長
 (上磯町長)、魚津富山県会
 長 朝日町長、宮城沖縄県会長 嘉手納町長、水野岐
 阜県会長 笠原町長、竹田鳥取県会長 関金町長。



閉会のあいさつ
 閉会のあいさつを述べる松
 本副会長 佐賀県北方町
 長。